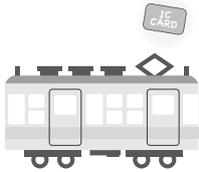


月 日() 年 組 名前

身近にある契約

下の①～⑤のうち、契約であるものに○、契約でないものに×を付けましょう。

①ICカードを使って電車に乗る。



()

②家族に小遣いアップをお願いする。



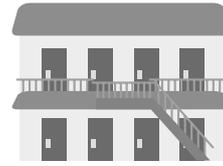
()

③パン屋でパンを買う。



()

④アパートを借りる。



()

⑤インターネットでゲームのアイテムを買う。



()

契約はどのように成立するの？

- ・契約とは、法的な()を持った約束のことである。
- ・契約の方式は、原則()である。
- ・契約は、()と()というお互いの意思の合致によって成立する。
- ・契約が成立すると、消費者には代金を支払う()と商品を受け取る()が発生し、事業者には代金を受けとる()と商品を渡す()が発生する。
- ・一度成立した契約は、どちらか一方の()で、契約をやめることはできない。

一度成立した契約はやめることができないの？

次のうち、契約をやめられるのはどちらでしょうか。

AとBを比較して、下の表を完成させましょう。

A

昨日、ある店で高級布団を買ったが、ほかの店でもっと気に入った布団を見つけた。一度も使っていないのでこの契約をやめたい。

B

3日前に訪問販売で高級布団を買った。一度使ってみたがあまり気に入らない。この契約をやめたい。

	購入時期	販売方法	やめたいと思った理由	その他
A				
B				

契約をやめることができるのは である。

一方的に契約をやめることができる制度

- ・()のような特定の取引の場合、一定期間内であれば無条件で契約をやめることができる制度を()という。
- ・この制度を利用するために()は必要なく、一方的に契約をやめることができる。
- ・この制度は、特定の取引に限って適用されるため、()で買った場合や()販売には適用されない。
- ・この制度以外にも、()者による契約や、詐欺や強迫などによる理由で、契約をやめることができる。これを()という。

消費者の利益を守る制度があるのはなぜ？

- ・契約の基本的な考え方は、「契約する人はお互い()な関係である」ことが前提である。
- ・実際の社会では、事業者と消費者との間に、()の質や量、()力といった構造的な格差がある。
- ・両者の格差を是正するために、国は()を規制する法律や、()などの制度を作り、消費者の利益を守っている。また、()などの行政機関を設置し、消費者を支援している。

心配なことは消費生活センターに相談しよう

- ・消費生活センターに相談することは、()の問題解決のためだけではなく、次の()を減らすことにつながる。

【まとめ】

事例の契約について、やめられるかやめられないかを考え、その理由をワークシートに記入し、意見交換しましょう。

事例1	高校に入学したので、家族に内緒で家電量販店で20万円のパソコンを買った。高額なので返したい。	契約を 理由： やめられる・やめられない
事例2	5日前、路上で「モデルにならない？」と誘われ、ついて行った事務所で30万円の美顔器を進められ、断り切れずに契約してしまった。後で考えたら必要ないので契約をやめてお金を返してもらいたい。	契約を 理由： やめられる・やめられない
事例3	興味本位でアダルトサイトにアクセスしたところ、「登録完了」の画面が表示され、6万円を請求された。	契約を 理由： やめられる・やめられない
事例4	3日前にインターネットでスニーカーを購入した。イメージが違ったので、クーリング・オフしたい。	契約を 理由： やめられる・やめられない

月 日() 年 組 名前

生活に浸透したカード(販売方法と支払方法の多様化)

販売方法には大きく分けて2つの方法があります。

- ・()販売 お店、スーパーマーケット、コンビニエンスストア、デパート など
- ・()販売 ネットショッピング、訪問販売、電話勧誘販売、自動販売機 など

支払いに使用できるカードにはどのようなものがあるか、前払い・即時払い・後払いに仕分けてみましょう。

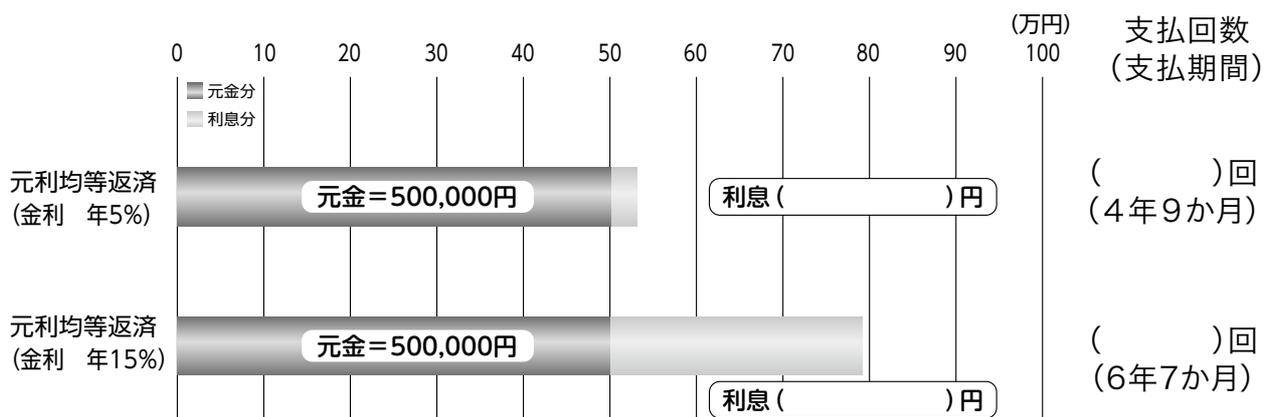
種類	カードの名前	機能
前払い ()		カードに入金した金額の範囲内で、買い物代金の支払いにあてる。
即時払い ()		買い物代金を支払うときに自分の銀行口座から代金が即時に引き落とされる。
後払い ()		買い物代金を後で支払う。

- ・()とは、お金の価値を電子データとして記憶させたものであり、代金の支払いに利用することができる。

クレジットカードの仕組み

- ・クレジットは、()という意味である。
- ・クレジット会社は、必ず支払いができると認めた人だけ()契約をし、クレジットカードを発行する。
- ・クレジットカードの契約は、消費者、販売店及びクレジット会社による()契約である。
- ・クレジットカードの利用は、クレジット会社に()をして商品を購入することである。
- ・クレジットカードの支払方法は、主に3通りある。
具体的には、()払い、()払い、()払いである。
- ・分割して代金を支払う場合は、手数料がかかる。手数料とは()のことで、お金のレンタル料である。
- ・リボルビング払いは、追加で利用しても毎月の支払金額が()である。

リボルビング払い(リボ払い)の仕組み



- ・()の計算方法は、元金×金利×借入期間である。
- ・()とは、借りた金額のことである。
- ・()とは、元金に対する利息の割合のことである。
- ・金利が高いと、利息は増える。借入期間が長いと利息は()。

会員規約はクレジット会社との約束ごと

- ・クレジットカードを受け取ったら、すぐに裏面に()をする。
- ・家族を含む()には貸さない。
- ・クレジットカードの紛失・盗難にあったら、()と()にすぐに届け出る。
- ・()は必ず毎月確認する。
- ・身に覚えのない請求があったら、すぐに()に連絡する。

返済に困ったら一人で悩まず相談しよう

- ・借金を繰り返し返済困難な状況に陥ることを()という。
- ・返済能力を超え、借金返済ができない場合は、経済的な立ち直りを図る()という方法がある。具体的には、任意整理、特定調停、個人再生、()がある。
- ・返済に困ったら一人で悩まず、()などの専門相談窓口へ相談する。消費生活センターの電話番号は()と覚える。

月 日() 年 組 名前

どの製品を選ぶ？

自転車を選ぶとき、どのような情報を基に選びますか。
例を参考に、思いつく情報にいくつでも○を付けましょう。



--

！ ヘアドライヤーを例に広告を比較しよう

テキストにある3つの商品のうち、どのヘアドライヤーを選びますか。誰がどういうときに使用するか、購入目的に合ったヘアドライヤーを1つ選びましょう。

テーマ

選んだヘアドライヤー A B C

次に、選択の決め手となった広告の情報と、その理由を記入しましょう。

選択の決め手となった情報	選んだ理由
(例) 価格	予算の範囲内で一番高い。

！ ヘアドライヤーの表示を確認しよう

選択した商品の安全に関する表示を確認し、他の商品と比較して気付いたことを書きましょう。

安全に関する表示	気付いたこと
マーク	
警告表示	

- ・PSEマークとは、国が定めた()の技術基準に達していることを()が自主検査したものである。
- ・Sマークとは、()が安全性を確認した製品に表示されたものである。
- ・家電製品、自転車、花火、子供が使うおもちゃなどの商品を選ぶときは、()に関する表示も確認することが大切である。

製品の安全に関するマークの名前を書き、関連する商品を線で結びましょう。



製品を正しく使おう

- ・製品安全の国際規格では、3つのステップで()を減らすように規定されている。
- ・製造メーカーは、安全な製品を提供する()がある。
- ・製造メーカーは、安全設計をしても使い方によっては()があることを、取扱説明書に書いて消費者に伝えている。
- ・誤った使い方による事故を防ぐために、()を読み、あらかじめ様々なリスクを知って正しく使うことは、消費者の()である。

正しく使っていたのに事故にあった場合は？

- ・()の通りに正しく使用していたにもかかわらず、製品の()が原因で人や周りの物に被害を与えた場合、()法によって()を求めることができる。

事故情報を提供しよう

- ・製品の不具合や事故にあった場合、()や()に情報を提供することが大切である。迷ったときは、()に相談する。電話番号は☎()である。

月 日() 年 組 名前

この商品、どうやって作られたの？

スマホを例に商品の一生を考え、ワークシートに記入しましょう。

() → () → () → () → 消費者
 消費者 → () → () → 原材料に戻すなどして再利用

私たちに身近な家電製品や電子機器には、どのようなものがあるか、記入しましょう。

- ・家電製品や電子機器は、たくさんの部品で構成されている。
- ・部品の一部には金や銀などの()や、タンタル、タングステンなどの()といわれる希少金属が使われている。
- ・金やレアメタルは、電子機器の信頼度を上げたり()化するために必要不可欠で、採掘した鉱石からほんのわずかしき取り出せない()な金属である。

私たちに身近な家電製品や電子機器には、どのようなものがあるか、記入しましょう。

- | | | | |
|--------|---|---|---------------------|
| タングステン | ● | ● | 小型で大容量のコンデンサ |
| リチウム | ● | ● | 呼び出し音の代わりに振動モーターの部品 |
| タンタル | ● | ● | 長時間使える電池 |

金やレアメタル産出国で起きている問題

- ・鉱物資源に乏しい日本は、家電製品や電子機器の部品を作るための原材料のほとんどを世界中から()している。
- ・金やレアメタルを採掘している一部の鉱山では、環境問題や、()、()、()などの人権にかかわる問題が起きている。

レアメタルを含む鉱石産出国で鉱石を採掘している写真を見て、気付いたことを書きましょう。

既に使われている金やレアメタルを有効利用するための取り組み

- ・事業者は、金やレアメタルの使用を()設計に取り組んだり、行政と一緒に()の仕組みを整備したりしている。
- ・小型化された電子機器の部品の中には()のレアメタルしか含まれておらず、リサイクルのための()が高いことなど、課題が多い。
- ・小型家電には、金や銅、レアメタルなどが含まれる一方で、鉛などの()な物質も含まれるため、使用後は()な処理が必要である。
- ・()は、()法に基づき、携帯電話などの回収品目と回収方法を決めて実施している。

スマホ、小型家電などの電子機器の部品の資源を有効利用するために、消費者である自分には何ができるかを考え、まとめましょう。

商品の一生を考えたエシカル消費

！ エシカル消費について調べてみよう

以下のエシカル消費のキーワードについて、グループごとにパソコンを利用して調べましょう。(例)

エシカル	項目	調べたこと	
フェアトレード	①言葉の説明		
	②問題・課題(具体例) ()		
	③何の問題解決になるのか	人	
社会			
環境			
地産地消	①言葉の説明		
	②地元の農産物 ()		
	③何の問題解決になるのか	人	
社会			
環境			
社会的弱者などへの応援	①言葉の説明		
	②問題・課題(具体例) ()		
	③何の問題解決になるのか	人	
社会			
グリーンコンシューマー	①言葉の説明		
	②問題・課題(具体例) () RSPO認証マーク		
	③何の問題解決になるのか	人	
社会			
環境			

発表用メモ：

関心をもって調べよう

【まとめ】今日の授業を受けて、消費者市民として今後どのような行動をしようと思ったか、記入しましょう。

月 日() 年 組 名前

【ワーク1】買った商品に不具合があったとき、どのように行動しますか。



①何もしない(あきらめる) ②販売店に言う ③製造メーカーに電話する
理由: _____



①何もしない(あきらめる) ②販売店に言う ③製造メーカーに電話する
理由: _____

- ・現代社会では、私たちは物やサービスを()から購入して、それを日々()
することで生活が成り立っている。
- ・日常のものを「買う」行為は、()に参加することを意味する。
商品を購入するときは、()や()をうのみにせず、
商品の情報を()したり、()したりすることが大切である。
- ・「しっかり考えて購入する」行動の積み重ねは、良い企業を()し、
育てていくことにもつながる。
- ・複数の商品から自分の意思で選択し、どの商品を購入するかによって、()に影響を
与えることができる。このような消費行動をする消費者を()という。

「消費者の権利と責任」から消費者市民を考える

- ・消費者の権利とは、1962年の()の「消費者の4つの権利」や、1982年の
()による「消費者の8つの権利と5つの責任」などを通して
確立されてきた。日本でも、2004年に成立した()に消費者の権利が
明記されている。
- ・消費者の権利と責任に沿って行動することが「()」であり、()で
()な消費者市民社会の実現を果たすことにつながる。

消費者の8つの権利

- 補償を受ける権利
- 消費者教育を受ける権利
- 生活の基本的なニーズが
保障される権利
- 健全な環境を享受する権利

※赤字は、ケネディ大統領が提唱した4つの権利

消費者の5つの責任

- 批判的意識を持つ責任
- 主張し行動する責任
- 社会的弱者への配慮をする責任
- 環境への配慮をする責任
- 連帯する責任

【ワーク2】グループごとに与えられた問いに取り組み、どのような行動が消費者市民であるかまとめましょう。

問い		どのような行動が消費者市民であるか
経済的市民	① 批判的意識を持つ責任	P9の広告にある3つのヘア 드라이ヤーを比較して、疑問点や気付いたことを記入しましょう。
	買う ・()を求める権利 ・()する権利	
経済的市民	② 批判的意識を持つ責任	P10にある相談事例を読んで、分かったことを記入しましょう。
	使う ・()権利	
政治的市民	③ 主張し、行動する責任	問3寸劇:「消費生活センターに相談するとどうなる?」を読み、なぜ次の被害者が減るのか記入しましょう。
	買う ・()させる 権利	
政治的市民	④ 主張し、行動する責任	「問4事例:リコール情報を調べよう」を読んで分かったことをワークシートに記入しましょう。
	使う ・()させる 権利	
倫理的市民	⑤ 環境への配慮、連帯する責任	P12を読んで、分かったことをワークシートに記入しましょう。
	捨てる	

発表用メモ:

【まとめ】消費者市民としてどのような行動をしていくべきか考え、発表しましょう。
